

- ・対象地域：斜里町ウトロ地域
- ・地域人口：1,172人(平成26年)
- ・漁業協同組合員数：160人(平成26年)
- ・漁港：ウトロ漁港(4種)、斜里漁港(2種)、知布泊漁港(1種)

ウトロ地域マリンビジョン

～ 丸ごと感じて!! 海トロの恵み ～

<< 平成27年3月改訂 >>

■拠点漁港のタイプ

- 都市漁村交流拠点漁港
- 衛生管理流通拠点漁港
- 増養殖支援拠点漁港
- 防災・減災支援拠点漁港

拠点漁港



第4種ウトロ漁港

地域の資源等



秋サケ定置網漁業



秋サケ陸揚作業



世界自然遺産



現状と課題

現
状

- 漁業と観光が二大産業
- 漁業は定置網漁業が主力で、サケ・カラフトマスの水揚量が何れも日本一
- 観光は、知床の大自然を背景にオホーツク観光最大の拠点を形成

課
題

- サケ・マス漁業の安定化
- 知床の知名度を生かした水産物のブランド化・消費拡大
- 世界自然遺産登録を生かした観光振興
- 体験型観光の充実

地域の目指す姿

■ビジョンの特徴

ウトロ地域の二大産業である漁業と観光業の多様な連携による相乗効果と、ウトロ漁港を中心とする基盤施設等を有効に活用することで、地域・社会経済の活性化を目指す。このため、「漁業と観光の連携」をメインテーマとして、次の3つのプログラムにより計画を推進する。

(1) 漁業生産増大プログラム

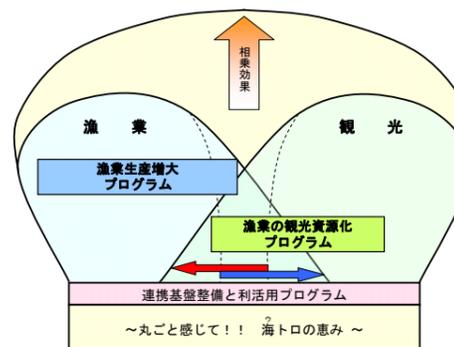
資源を守り育て、有効に活用して担い手を育成し、漁業収入を向上させる取組を進めるとともに、漁業コスト削減の取組を進める。

(2) 漁業の観光資源化プログラム

漁協・漁業者と観光サイドが有機的に連携して体験漁業を推進するなど、漁業の観光資源化プログラムを展開する。

(3) 連携基盤整備と利活用プログラム

ウトロ漁港ペレケ地区を漁業と観光との連携を深める基盤として整備し、その利活用を推進するプログラムを展開していく。



地域マリンビジョン協議会

ウトロ地域マリンビジョン協議会

委員

- 漁協青年部・漁協女性部・漁協理事・漁協職員・海産商組合・自治会・観光協会・小型観光船協議会・知床温泉旅館協同組合・道東観光開発(株)・ウトロ地域協議会・関係行政 計30名

助言者

- 北海道開発局網走開発建設部・網走港湾事務所、オホーツク総合振興局水産課 計7名

事務局

- 関係行政等 計6名

地域資源(特徴)

- サケ・カラフトマス水揚日本一の海
- 世界遺産に認められた豊かな自然
- 豊富な温泉と観光宿泊施設

【主な地域資源等】

極上サケ「特銀」・オホーツクサーモン・流水・夕陽・知床連山・海岸の奇岩・サケ・マスが産卵する川・多くの滝・知床峠・知床五湖・100m²運動・野生動物・観光船

漁港の将来像

- ①都市漁村交流拠点漁港(人工地盤)
 - ・観光船の離発着・陸揚げ作業見学施設等
- ②衛生管理流通拠点機能(人工地盤)
 - ・人工地盤1階における陸揚げ～出荷までの一貫した衛生管理
- ③増養殖支援拠点漁港
 - ・ペレケ地区におけるサケ稚魚海中飼育等
- ④防災減災支援拠点漁港
 - ・緊急時に巡視船などが係留できる特定目的岸壁整備

ビジョン実現のための主な取組

- 海域や河川の環境保全と自然産卵環境の再生
- 資源増殖のための種苗放流や増殖
- 次世代を担う人づくり教育と就労環境の向上・安全確保
- 6次産業化とブランド化による消費拡大
- サケ定置網起こし見学、荷捌き作業見学、サケ祭り
- 婦人部食堂と漁協直売店の新たな展開
- フェイスブックでの情報発信
- ウトロ漁港の観光と連携した利活用の促進